

# 地震一口メモ No. 184

## 緊急地震速報について② -11月5日は訓練に参加しよう！-

No. 183では、緊急地震速報の仕組みや、皆様お一人おひとりの身を守るための行動が大切ということを紹介しました。身を守るための行動とは言っても、日頃から訓練をしておかないと、いざという時になかなか対応できないものです。そこで、今回は訓練について紹介します。

「津波防災の日」に併せ、令和2年11月5日（木）午前10時頃に緊急地震速報の訓練が行われます。この訓練では、気象庁が訓練用の緊急地震速報を発表し、訓練に参加する自治体の防災行政無線や商業施設などで通知音が流れます。なお、テレビ・ラジオ・携帯電話の緊急速報メールには基本的に流れませんが、ドコモの「地震防災訓練アプリ」を活用すればご自身のスマートフォンで訓練に参加いただけます。このアプリはドコモユーザ以外も利用可能です。

訓練では、緊急地震速報が発表された場合にどのような行動を取るかを確認してください。室内にいる場合は、じょうぶな机の下へ避難して机の脚をしっかりと持つなどし、頭や体を守ります。また、電車に乗っていた場合、車を運転していた場合など、色々な状況をイメージしておき、いざという時に備えます。

また、緊急地震速報の訓練は、今一度日頃の備えを見直してみる良い機会になります。例えば、自宅にいるときに大きな揺れが起こった場合を想像してみて、倒れてきそうな大きな家具などは無いのか、揺れで落ちてきそうな重いものを棚の上に置いていないか、出入り口が物で塞がってしまうおそれはないか、などを確認してみてください。特に寝床の周りには重たいものを置かず、すっきりとさせておくことで安心ですね。

日本では、どこでも大きな地震が起こる可能性があります。防災を自分自身のことと考え、日頃から地震に備え、いざという時にすぐに身を守るようにしておきましょう。

**家庭**では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない

**鉄道・バス**では

- つり革、手すりにしっかりつかまる

**エレベーター**では

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる

**屋外(街)**では

- スロツク塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意

**自動車運転中**は

- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす